

研究指導の概要

■理工学研究科

【課程：博士後期課程（工学系）】

学年	学期	研究内容及び指導方法等
1 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーションで博士後期課程の履修・研究スケジュールについてのガイダンスを受ける。 ・指導教員・所属研究室を決定し、指導教員や関連教員とのディスカッションを通して博士論文の研究課題を決定する。また、研究計画を「先進工学基礎」指導記録簿にまとめる。 ・授業科目の履修を通じ研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文審査申請条件の達成を目指し、博士論文に関するテーマについて、査読付き学術雑誌への投稿や国際会議発表等を行う。 ・「先進工学基礎」において、研究倫理に関する講習を受講し、研究公正・研究倫理について学ぶ。 ・博士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の履修を通じ研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。 ・指導教員より博士論文執筆に向けての研究指導を受け、執筆に向けた準備を進める。 ・博士論文審査申請条件の達成を目指し、博士論文に関するテーマについて、査読付き学術雑誌への投稿や国際会議発表等を行う。 ・「先進工学基礎」において、メンターと面談し、研究計画に対する助言を受ける。
2 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の進捗状況を踏まえ、「先進工学基礎」指導記録簿への記載内容を見なおす。 ・授業科目の履修を通じ研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。 ・指導教員より博士論文執筆に向けての研究指導を受け、執筆に向けた準備を進める。 ・博士論文審査申請条件の達成を目指し、博士論文に関するテーマについて、査読付き学術雑誌への投稿や国際会議発表等を行う。 ・「先進工学基礎」において、メンターと面談し、研究の実施状況に対する助言を受ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の履修を通じ研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・博士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。 ・指導教員より博士論文執筆に向けての研究指導を受け、執筆に向けた準備を進める。 ・博士論文審査申請条件の達成を目指し、博士論文に関するテーマについて、査読付き学術雑誌への投稿や国際会議発表等を行う。 ・「先進工学基礎」において、メンターと面談し、研究の実施状況に対する助言を受ける。

学年	学期	研究内容及び指導方法等
3 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、2年次の進捗状況を踏まえ、「先進工学基礎」指導記録簿への記載内容を見なおす。 ・ 授業科目の履修を通じ研究視点や方法を深化させる。 ・ 博士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・ 博士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。 ・ 指導教員より博士論文執筆に向けての研究指導を受け、執筆に向けた準備を進める。 ・ 博士論文審査申請条件の達成を目指し、博士論文に関するテーマについて、査読付き学術雑誌への投稿や国際会議発表等を行う。 ・ 「先進工学基礎」において、メンターと面談し、研究の実施状況に対する助言を受ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博士論文についての論文計画をまとめ、所定の様式により主指導教員に提出する。 (提出後、指導教員グループにより審査が行われ、合格となった場合に博士論文審査申請の資格が得られる。審査は、3月修了の場合は10月末日まで、9月修了の場合は4月末日までに行う。) ・ 指導教員の指導の下、論文題目を決定し、所定の様式により提出する。 ・ 指導教員や関連教員の指導を受けつつ博士論文の執筆を進める。 ・ 「先進工学基礎」において、メンターと面談し、研究の実施状況に対する助言を受ける。 ・ 予備審査委員による博士論文の予備審査を受け、指摘事項を踏まえ学位論文を完成させる。 (予備審査において不合格と判断された場合は、論文審査申請を行うことができない。) ・ 博士論文審査申請条件(査読付き学術雑誌への投稿のアクセプト状況等)を達成しているかを確認する。 ・ 博士論文を提出する(3月修了の場合は12月20日まで。9月修了の場合は7月1日まで)。 ・ 公聴会において、博士論文について発表する。 ・ 論文審査委員より、博士論文の審査及び最終試験を受ける。 ・ 修了に必要な単位を全て修得していることを確認する。 ・ 博士論文の審査及び最終試験に合格し、かつ修了に必要な単位を全て修得していることが確認された場合、学位が授与される。